

磁石の豆知識

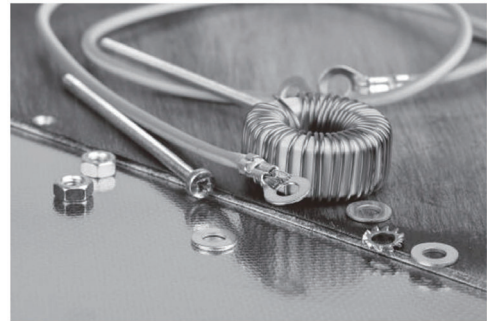
ホームガス課
森本 英幸

① 磁石の起源

紀元前数百年ごろ、小アジア（トルコの一部）のマグネシア地方で、鉄を吸い付ける石を発見しました。この鉱物は、天然に磁化された磁鉄鉱：マグネタイトで、人類が最初に出会った硬質磁性体です。後になってロードストーン（lodestone）と名付けられました。マグネットの語源は古代ギリシャのマケドニアあるいは小アジアにあったマグネシア地方で磁鉄鉱が産出されたことから、永久磁石の「マグネット」は、マグネシア地方のマグネに由来したものとされている説と、マグネスという人物が磁鉄鉱を発見したという二つの説があります。

② 磁石の作り方

電気が流れているところには磁力が発生する。この原理を生かすと磁石を作ることができる。磁力は、導線をばねの形に巻いたコイルを使用すると強くなるので、ばねの形に巻いたコイルに電気を流すと磁石ができるのだ。これを「電磁石（でんじしゃく）」という。電磁石は、電気を流している間だけ磁石になるのが特徴だ。電磁石は、コイルを巻く回数や導線の太さ、芯に使用する鉄などの太さによって磁力の強さが異なる。自宅のできる磁石の作り方はストローにエナメル線を丁寧に巻く。



- ① ストローの片方の端から規則正しく巻くことを心がけよう。
- ② ストローに鉄くぎを入れる。
- ③ ストローの両端のエナメル線を電池に繋ぎ、テープなどで止めると完成。

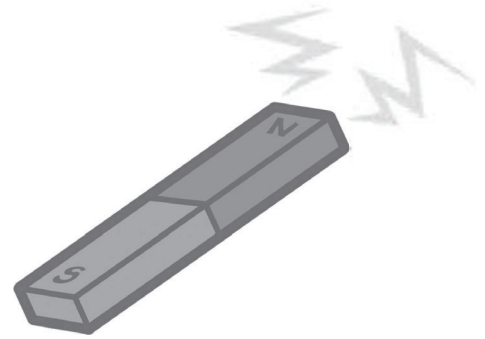
電磁石は、ストローを使用せずにエナメル線をくぎやボルトに直接巻いてもできる。磁石ができたかどうかを確認するためには、クリップを近づけてみるとよい。クリップが電磁石にくっいたら成功です。

③ 磁石の豆知識

日本のお札は磁石にくっつく。実はお札には磁性体が含まれた磁気インクというものが使用されており磁力の強いネオジム磁石を印刷の濃い部分に近づけると、くっついてきます。機械などでお札が本物かどうか確認できるようにするためだそうです。

「未使用の使い捨てカイロ」が磁石につきます。使い捨てカイロとは、鉄が酸素と化合して酸化鉄になる時の熱を利用しています。ですから、使用後の使い捨てカイロは磁石につきません。

クレヨンも色によって鉄が含まれているので、磁石につきます。「ぺんてるくれよん」の茶色とこげ茶色、「サクラクーピーペンシル」の茶色などがそうです。ただし、これも量はわずかなので、転がしておいて磁石を近づけていくと、コロっとくっつくという程度です。



参考：
<https://www.olive-hitomawashi.com/lifestyle/2020/12/post-487.html>
http://frank-ken.air-nifty.com/frankkens_tips/2011/10/post-30f9.html



未経験でわからないことばかりですが早く一人前になれるように一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお祈りします。

前職では直接お客様に関わる仕事がなかったので配送の仕事では感謝の言葉をもらうことや気遣ってもらうことがあり非常に励みになっています。

お伺いした際は気軽に話しかけて下さい。

趣味は子供と出かけることで最近公園で遊んだり川遊び等をしていきます。名張以外の場所は詳しく知らないのですがおすすめの場所があります。たら教えていただけると嬉しいです。

はじめまして。6月1日よりホームガス課 配送グループに新入社員として配属になった田中 拳四郎（たなか けんしろう）です。

新入社員紹介